



こうみん未来塾って？



三田が生んだ偉大な科学者「川本 幸民」を目標とした人材育成と市が推進している「公民」協働のまちづくりにちなみ名付けました。

こんなさんだっ子！

- 科学技術に親しみを感じる子
- グローバルに活躍する気概を持つ子
- チャレンジ精神旺盛な子



目指すのは

地域 教育機関 民間企業 三田市

さまざまな分野の専門家が三田の子どもたちに

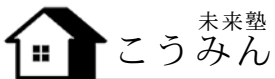
「本物」に触れる 体験を贈ります。



三田の子どもたちへ「本物」に触れる体験を一。さまざまなプロフェッショナルから普段学べないことが体験できる事業「こうみん未来塾」。応募が殺到して参加倍率が約3倍に上ることも！  
みんなで集まるのが難しい今。だからといって無限の可能性を秘めた子どもたちの学びを止めたくない。そんな思いからこうみん未来塾は「with コロナ」の中で新しい取り組みを進めています！  
問い合わせ＝健やか育成課（559-5046 FAX 563-3611）

こうみん未来塾

学び方新たに、楽しみ方いろいろ



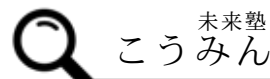
「おうちでこうみん」 企画継続中！



こうみん未来塾の講師陣がおうちでも取り組める企画を提供。プリントアウトしてできるペーパークラフトや各種プログラミングツールとその操作説明動画、博物館職員の自作動画やクイズなど、多彩なコンテンツがそろっています。ぜひ、「おうちでこうみん」を体験してください！

2面に続く

「おうちでこうみん」が、文部科学省 中央教育審議会生涯学習分科会（第108回）で「地域学校協働活動」の中でのコロナ対策の事例として、紹介されました！



自由研究

「子ども何でも自由研究！～こうみんチャレンジ with コロナ～」を募集！

ニュートンやアインシュタインは、休校や余暇の時間に大発見をしたそうです。そこでこうみん未来塾でも、休校期間中から今までのおうち時間で取り組んだことや夏休みにやってみようとおためしていることなど、思わぬ荒波を乗り越えてきた子どもたちの活動を大募集します！どんな小さなチャレンジでもOK！「コロナ禍でやったチャレンジ」は必ず子どもたちの未来を照らします！

応募作品には、こうみん未来塾の講師陣が自身の専門ジャンルから気に入った作品に賞を贈ります。  
申し込み＝市ホームページから応募用紙をダウンロードし、eメールで健やか育成課（eメール sukoyaka@city.sanda.lg.jp）※詳細は学校で配布するチラシや市ホームページをご覧ください。



学校の「未来」を考えよう！



三田市長 森 哲男

市長の「ほっとトーク」

森のひとこと

今年の夏は、全国の小・中学生にとって、とてもつらいものになっていくのではないのでしょうか。三田の子どもたちも同様です。特に中学3年生にとっては、高校受験を控えての学習面の不安や、全国大会へつながらず、県大会や地区大会の中止により3年間の部活動の集大成が十分発揮できないことへの悔しさなどでストレスが大きくなっているのではないかと心配しています。  
私たち大人は、子どもたちが元気に学校生活を送れるように、小・中学校と連携をとり、新型コロナウイルス感染症の防止対策をしっかりと行うとともに、「ウィズコロナ・アフターコロナ」を視野に置いて、今の子どもたちの未来のために、そして未来の子どもたちのために、小・中学校の望ましい未来の姿を考えていきたいと思います。  
私は、望ましい小・中学校の姿を次のように考えています。例えば、(1)子どもたちの未来にとって不可欠なICTなどのテクノロジーを活用できる教育環境が整備された学校、(2)子どもたちの「育ち」が地域の多様な人々に支えられている学校、(3)集団的な活動を通じて様々な人とのつながりを学ぶのにふさわしい規模の学校などです。現在、中学校の再編について議論が始まっています。地域の活性化という視点も大事ですが、まずは「今の子どもたち、そして未来の子どもたちのために」みんなで一緒に考えていきたいと思います。